

アイピーテック潜熱蓄冷材-5

5～6℃付近を長時間維持する高機能蓄冷材。
繰り返し使用可。

《調温方法》

冷凍庫（-30～-10℃環境下）に5～6時間、間隔をあけて静置し中身を固体化させて下さい。その後冷蔵庫（3～5℃環境下）に1～1.5時間程度、もしくは室温（25℃付近）で20分程度静置して蓄冷材の表面温度が3～4℃付近に落ち着いたのを確認の上ご使用下さい。

※蓄冷材の表面温度計測には赤外線放射温度計が便利です。



室温保管時（中身が透明）

調温後（中身が白色）

※調温後、蓄冷材表面に結露が発生することがあります。その場合は乾いた布などで水分をふき取ってからご使用下さい。

※蓄冷材の中に微小な固体が含まれている場合がありますが、品質には問題ございません。



注意

- ・オートクレーブ、電子レンジの使用は絶対にしないでください。
- ・火に近づけないでください。
- ・高温になる場所、直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- ・調温の際、-30℃未満・45℃以上にしないでください。容器変形、破損の恐れがあります。
- ・強い衝撃を与えたり、落下させたりしないようにご注意ください。
- ・中身を容器から取り出さないでください。
- ・容器の洗浄に有機溶剤を使用すると、破損、劣化に繋がりますのでご注意ください。
- ・容器破損によって、内容物が眼に入った場合、清浄な水で注意深く十分に洗ってください。皮膚に付着した場合、皮膚を大量の水と石鹼で洗ってください。人体に異常を感じたら、必ず医師の手当てを受けてください。（眼、皮膚、他）
- ・蓄冷材を保管する際は-30℃以下での長期保管はお避け下さい。容器破損の恐れがあります。一旦固体化した後は、冷蔵庫内での保管をお勧めいたします。



株式会社 サンプラテック

□本社 … ☎(06)6353-5141 FAX(06)6353-5975
□東京支店 … ☎(03)5688-5141(代) FAX(03)5688-5142
□名古屋支店 … ☎(052)962-0291(代) FAX(052)962-0293